

# p16(E6H4)新規受託開始のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

この度、免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製 p16 タンパクが、子宮頸部上皮内腫瘍（CIN）が疑われる患者であって、HE染色で腫瘍性病変の鑑別が困難な症例に対して、新たに保険適用されました。

つきましては、本検査の受託を開始いたしますので、下記のとおりご案内申し上げます。

敬白

記

■受託開始日 令和7年5月7日（水）受付分より

■検査項目 p16 (E6H4)

■検査要項

本項目は免疫染色のみになります。

病理報告書が必要な場合は、別途「病理組織学的評価のみ」（項目コード：8007）が必要になります。

検査項目	検査材料	検査方法	実施料点数 (区分)	所要日数	備考
2353 p16 (E6H4)	未染標本スライド 5枚 又は パラフィンブロック (切片の厚さ:4μm)	酵素抗体法 (IHC)	720点 (N002-1)	5~10日	・別途「病理組織学的評価のみ」が必要です。 ・病理判断料 130点 <small>注</small>

注) p16 タンパクは、子宮頸部上皮内腫瘍（CIN）が疑われる患者であって、HE染色で腫瘍性病変の鑑別が困難なものに対してH Qリンカーを用いて免疫染色病理標本作製を行った場合に、本区分の「1」エストロジェンレセプターを準用し算定する。

■留意事項

上記対象疾患以外の検体で、p16免疫染色をご希望の場合は、免疫組織染色1枚（項目コード：8914）にてご依頼下さい。

■提出材料

- ・未染標本は剥離防止処理がされたコーティングスライドで、有効期限内のものをご使用下さい。
- ・固定時間は10%中性緩衝ホルマリンによる固定で、6~72時間以内が推奨されます。
- ・固定不良等の病理標本作製過程における不適切な操作が染色不良の原因となりますので、ご注意下さい。
- ・ホルマリン固定以外の固定方法を用いた検体や脱灰処理を行った検体は推奨されていません。
- ・薄切後は40℃ 一晚、もしくは60℃ 30分以内で乾燥後、速やかにご提出下さい。長時間、高温に置くことは、染色不良の原因となりますので避けて下さい。
- ・その他検体採取から固定までの取扱いは、総合検査案内「24~25」（156頁）「コンパニオン検査やゲノム検査を行う病理組織検体提出に関して」をご参照下さい。

■依頼方法

本検査の依頼は、依頼書の所見に「p16(E6H4)」と記載して下さい。

1. p16(E6H4)単独依頼の場合：院内病理報告書の写しの添付をお願いいたします。（写しの添付が難しい場合は、病理組織検査結果と臨床所見等を記載して下さい。）
2. 弊社で病理検査（報告書作成まで）を依頼の場合：対象の既往病理番号を依頼書に記載して下さい。

■参考文献 ベンタナ OptiView CINtec p16(E6H4)添付文書 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

以上

\*お問合せ先：029-837-2721 総合インフォメーション

2025-A-022